

## 環境大臣表彰受賞者一覧

NO 1

表 彰 団 体 名 代 表 者 名	功 績
おおさかふかいいきびかあんぜんきょうかい 大阪府海域美化安全協会 ひらの ただくに 理事長 平野 忠邦	平成 6 年設立以来、大阪湾において、海底の堆積物や浮遊ごみ等の回収・除去を行うとともに、啓発資料の作成・配付、大阪湾の環境保全に関する普及啓発活動を推進してきた。
かがわけんちくえいせいそしきれんごうかい 香川県地区衛生組織連合会 こうざい ひではる 会長 香西 秀治	昭和 4 1 年設立以来、瀬戸内海の環境保全に資する指導者研修会等を開催するとともに、各市町組織ごとに「3000 万人瀬戸内海クリーン大作戦」などの海浜清掃活動に積極的に参加し実践活動に努めている。
かぶしきかいしゃとうようせいまいきせいさくしよ 株式会社東洋精米機製作所 さいか けいじ 代表取締役社長 雑賀 慶二	平成 3 年に、日本人の主食である米の優れた精米技術（無洗米）を開発し、その普及促進により、米のとぎ汁等による生活排水問題への関心を高めた。
こうべししみん の みずべれんらくかい 神戸市市民の水辺連絡会 すずき よしとみ 幹事 鈴木 誠臣	昭和 5 6 年設立以来、河川、海岸、ため池などの水辺環境を保全育成するための研修会の開催、啓発イベントの開催及びそのガイドブック「水辺を歩こう」の作成等を行い、水辺を守り育てる活動の育成と地域の環境保全に努めている。
しゃだんほうじん 社団法人 きたきゅうしゅうしゅうせいせいそうれんごうかい 北九州市衛生総連合会 なんと うしあき 会長 南島 吉祥	昭和 4 8 年から瀬戸内海環境保全地区組織会議メンバーとして、瀬戸内海環境保全と人間性豊かな生活ゾーンの実現に向け、地域住民の意識の高揚に努めている。また、指導者の研修を行うなど環境教育を視野に入れた取組を行っている。
せとないかいけんきゅうかいぎ 瀬戸内海研究会議 まつだ おさむ 会長 松田 治	平成 4 年設立以来、瀬戸内海の総合的な環境の保全と適正な利用に資するため、自然科学はもとより、人文・社会科学をも含むあらゆる学問分野からの結集により、瀬戸内海の環境保全の研究及び知識の普及を図ってきた。
6 団体	

表彰者名・(年齢) 現 職 名	功 績
おき ようこ 沖 陽子 (52) 岡山大学環境理工学部教授	平成3年度から岡山県公害対策審議会委員、平成6年度から岡山県環境審議会委員として、瀬戸内海の環境保全に関する岡山県計画や瀬戸内海の総量削減計画の策定に携わり、水質保全を中心に瀬戸内海の環境保全の推進に貢献した。
かわの た み お 川野 田 實夫 (59) 大分大学教育福祉科学部教授	自らの学術研究と卓越した識見を活かして、大分県環境審議会、大分県公害審査会、大分市環境審議会などに参画し、瀬戸内海の環境保全行政に貢献している。また、水質保全に関する講演等により、瀬戸内海環境保全の普及啓発活動に貢献した。
しみず あきら 清水 晃 (56) (株)コベルコ科研 営業本部環境統括部長	(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の公害防止主任管理者等として同製鉄所の環境保全に関する業務を15年以上従事し、汚濁負荷量の削減等に尽力するとともに、地域の環境リーダーとして、地域の環境保全活動の推進に貢献した。平成12年度からは兵庫県環境審議会委員として、瀬戸内海の環境保全の推進に貢献した。
たけおか ひでたか 武岡 英隆 (52) 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター長	昭和52年以来25年間にわたり、瀬戸内海の環境に関し、沿岸海域の流動と物資輸送、生物生産機構等を研究内容として、多年にわたり瀬戸内海の環境保全に関する研究に貢献した。瀬戸内海環境保全審議会委員、愛媛県環境審議会委員として、瀬戸内海の環境保全の推進に貢献した。
てらしま ゆたか 寺島 泰 (66) 大阪産業大学産業研究所長	自らの学術研究と卓越した識見を活かして、瀬戸内海環境保全審議会委員及び京都府環境保全審議会委員(平成15年度から府環境審議会環境管理部会長)として瀬戸内海の環境保全の推進に貢献した。
まつだ おさむ 松田 治 (59) 広島大学名誉教授	瀬戸内海の水質・底質・微生物をめぐる物質の移動と変成に関する基礎研究と水質環境の制御・修復に関わる課題を研究内容として、多年にわたり瀬戸内海の環境保全に関する研究に貢献した。また、広島県海砂利採取環境調査委員会会長、広島県環境審議会委員等として、瀬戸内海の環境保全の推進に貢献した。
6 名	